



令和4年12月1日
目黒区立駒場保育園園長

今年も師走を迎え、冬の到来となりました。子どもたちも落ち葉や木の実を見つけ拾い、季節の移り変わりを感じていることでしょう。

0歳児の子どもたちが外遊びに向かうため、這い這いで階段を下りてきました。先に下りてきた子どもが振り返って階段を見上げ「おー」と声を上げ“待ってるよ”と言っているかのようです。玄関で靴を足元に持って行くと自分から足を入れようとしたり、靴のマジックテープに手を伸ばしてやろうとしたりしています。1歳児の子どもたちは自分の靴だけでなく、友達の靴も取ってあげようとしたり「ここだよ」と教えてあげたりしています。靴は自分でマジックテープを外して履こうとしますが、かかとがうまく入らないと視線で訴えたり「やって」と言葉で伝えてくれる子もいます。時には自分でできる力はあるけれど「やって」という子もいて、やってもらいたい気持ちなのね、とその要求に応えることで、満足した表情を見せてくれます。できないところは手伝ってもらいながら、少しずつ自分でできることが増えていき「できた」と大人の顔を見て伝えてくれます。認めてもらえてことで意欲が育ち、自立に向かっていくとを感じる場面です。また、一緒に活動する友達に気づき、気にかけてたり自分がしてもらったことをしようとしたりなど、社会性も育っています。そんな子どもたちが日々たくさんのかんじを学んでいる姿をよく見て、子どもの表すサインに応えていきたいと思ひます。

年末年始はお子さんと過ごす時間も多ひと思ひます。うがい手洗ひなどで健康管理をして、どうぞ良い年をお迎へください。

今月の予定
 大きくなったね会
 3、4、5歳児クラス
 5歳クラス懇談会
 煙体験4、5歳児クラス
 ・身体計測 ・避難訓練
 ★12月29日～1月3日
 保育園はお休みになります。

歯みがき指導
 歯科検診を前に、3・4・5歳児クラスで歯みがき指導をしました。2回目なので、歯みがき時の姿勢や歯ブラシの持ち方を覚えており、「毎日ご飯の後にみがいてるよ」と教えてくれました。歯みがきは習慣です。ご家庭でお子さんと一緒に歯みがきをして、最後は仕上げみがきをしましょう。



保育園で育てている冬野菜を紹介しします



- | | | |
|----------|--------|------------|
| ひよこぐみ | ミニ人参 | ブロッコリー |
| ちゅうりっぷぐみ | ラディッシュ | ブロッコリー |
| たんぼぽぐみ | ミニ人参 | 小松菜 |
| さくらぐみ | 春菊 | ミニ人参 |
| すみれぐみ | 小松菜 | 大根 |
| ひまわりぐみ | ブロッコリー | カリフラワー 菜の花 |



収穫できる日を楽しみに、水やりをしながら生長を見守っています。

< 今月は大きくなったね会のみどころを紹介します >



さくら組 「おおきなかぶ」

子どもたちはくり返しのある「おおきなかぶ」の絵本が大好きです。保育士が読むと大きな声で「うんとこしょ、どっこいしょ」と身振りをつけて言っています。公園や園庭では、長い木のつるやロープなどを見つけると、友達と一緒に「うんとこしょどっこいしょ」と大きなかぶごっこをする姿も見られました。

ある日、おおきなかぶの絵本を読んだ後に子どもたちから「違う動物もいればいいのにね」という声が聞かれました。「どんな動物がいい」と尋ねると、「大きいから、ぞうさん」「つよそうだから、らいおんさん」「うさぎさんもいたらかわいい」などという声があがりました。そこで、今度は子どもたちからあがった動物でさくら組オリジナルのおおきなかぶごっこをくり返し楽しむことができました。

「ぞうは鼻が長いんだよね」「きりんは背が高いんだよ」とそれぞれの動物の特徴を表情や動きなどで表現しています。友達と一緒に大好きな動物になりきって動いたり、動物同士の掛け合いや「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声に合わせた動作をご覧ください。



すみれ組 「おむすびころりん」

昨年は、同じ役同士と一緒に台詞を言っていました。今年は一人で台詞を言います。ドキドキしながらも、同じ役の友達が側にいてくれることで心強くなり、くり返し演じる中で声も少しずつ大きくなってきました。

物語の中でおむすびがねずみの家の穴の中に落ちる時の“おむすびころりんすつとんとん”という唱歌が大好きで、歌うことが楽しくて初めはホール中を飛び跳ねながら表現していました。劇あそびをすすめるうちにお客さんに観てもらうためにはどうしたらいいかと考えるようになり、アイディアを出し合い工夫を重ねてきました。特にねずみが唱歌を歌いながらお餅をつく場面では、全員がきねを持ちたがりましたが、絵本を見直して「太鼓をたたいてる」「笛もふいてるよ」と新たなねずみの道具を見つけると、その中から自分が持ちたい物の一つを選び作りました。友達と「歌いながらどうやって動こうかな」と唱歌に合わせて踊り方を考える姿もあり、それぞれの役になりきって愉快地表現する姿にご期待ください。

ひまわり組 「11ぴきのねこ」

「11ぴきのねこ」は子どもたちがくり返し読んでいる絵本です。特に最後の場面を期待しているワクワクとした表情になり、何度読んでも笑いが起きてしまいます。「劇でやりたい」という声があがった時に「ひまわり組は10人しかいない」「ナレーターもあるのに」と心配する声もありましたが、すぐに「一人で2つやったら?」「みんなでやれば大丈夫だよ」と自分たちで解決策を考え取り組み始めました。役を決めることも道具を作ることも、全て子どもたちが相談をしながら進めています。道具作りでは役割分担をしてお互いに手伝い大道具が完成しました。また、表現方法は友達の演技や、大きな声で台詞を言う姿に刺激を受けて工夫する姿もありました。物語の台詞に出てくる“みんなで力を合わせれば”を合言葉に楽しみながら作りあげた劇です。個性豊かな耳としっぽを付け猫になり切った子どもたちは、心を一つに元気に歌いながら大きな魚を捕まえるため、いかに乗って出発します。現れた大きな魚を前にどうやって捕まえるか、知恵を出し合いよいよ捕らえた魚がどうなるかは観てからの楽しみです。きっと子どもたちと一緒に笑顔になることでしょう。

合奏は「きらきら星」を演奏します。1回目は鉄琴、トライアングル、鈴。2回目は木琴、カスタネット、タンバリン。3回目大太鼓が加わり、全員で音色を感じながら演奏します。どうぞお聴きください。

